

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

ひさしぶりの福州訪問！！

JSC 貿易部ニュース 中国編

ひさしぶりの福州訪問！！ しかも、初めての福州直行便で出張に行って参りました。同じ関空発でも、搭乗時間は廈門便に比べて15分～30分程度早く到着します。

ただ飛行場から福州の中心街まで車で約1時間掛かりますで、ドア to ドアの所用時間で言うとたいして違いはないのですが… 少しでも飛行機に乗っている時間を少なくしたいという方には、ピッタリかも知れません（笑）

肝心の福州の街の印象について

わたし自身7～8年前に、廈門からですが車で何度か福州に行った事がありましたので、福州が大きな街とは分かっていたのですが、今回の出張では、ビックリ！の連続（笑）

まず長楽の飛行場からして驚き！！ 搭乗口が国内外合わせ100以上あり、中には一人カラオケBOXもあり、驚きというかアミューズメントのような飛行場でした。



← 空港内のカラオケ BOX

街はと言うと、市街地に入って感じたのは、以前と違い空気が以外と綺麗になっているなあ～と感じました。

しかし良い事ばかりではなく、別の危険も・・・

その正体は… 電動式バイクの波状攻撃！！

以前日本のテレビでもニュースになっていたシェアリング自転車。これが飽和状態から淘汰されたあと、福州の街を征服していたのは電動式バイクの大集団でした！



↑ガソリンバイクに見えますが、全て電動式です。

「いくらなんでも過剰供給でしょう（笑）」と言いたくなるくらい市民の足として溶け込んでいる様でしたが、シェアリング自転車なきあと、スピードアップした電動式バイクが取って替わり、かなりのスピードで車道・歩道を問わず我が物顔で走っています。

中には軽く時速30km以上のスピードが出るようなモノまであり、特に横断歩道付近は要注意です。電動式のため、音が静かで近づいてきてもわからないのが厄介です。不慣れた日本人には非常に危険ですから注意して下さい（笑）

そんな最近の中国、米中の貿易摩擦も激しさを増す中、街も少し活気がないのかなあ…と思いきや、厦門だけでなく福州も地下鉄の工事でとても忙しそうですし、サービスの面でも、電動式バイクの宅配業者が現れ、帰宅前にネットで選んで食材を注文すると、帰宅時間に合わせて宅配してくれていると言う便利サービスが流行っており、現地の人に聞くと「最近、食材買いにスーパーに行っていないなあ〜」なんて…今の中国、進んでいるところは、驚くほど日本より進んでいます。

さて、肝心の仕事の情報です。

今回は、新しい工場を訪問させていただきました。社長さんは、二代目の30代の社長さんでした。「工場は？」というと、外柵や巻石の生産している工場なのですが、何か積極的に頑張っていこうという姿勢が見られる工場で、久しぶりにこちらも頑張っただ注してみようかと思う工場でした。

日本もそうですが、今の中国の石材工場は、職人さんの高齢化が進み、新しい成り手の若い人もいなくなり、そういったことが納期や品質の面で、「生産スピードの低下」「生産技術の低下」というカタチで大きく影響を与えているのだと思います。

そんな中、今回訪問した工場は…と言いますと、大きな設備投資はしていませんが製品の並べ方に対する工夫、古い中口径に直進や角度を取りやすくする赤外線レーザー機材を後付けして精度向上を図るなど、久しぶりにやる気を感じさせる工場でした。

なにより喜ばしいのは、30代の若い世代の社長さんが石材業界に入ってくれば、また石材業界にも活気が出てくるのではないかと思います。少し嬉しくなりました（笑）

色々見比べてですが、やはり品質の良い工場は元気な職人さんが多く、若い職人さんも少しですが入ってきている様に思います。工場に行ってみると品質の良い工場の雰囲気は同じ様なところがあるなあ～と感じます。

今月の石種紹介！

個人的には、下の↓↓「ベトナム万成石」、わたし、大好きな石なのですが、なかなか売れてないですねえ～！

石目は、日本の万成石に似ています。

中国とベトナムの国境線の近くに丁場があるという石で、恐らく中国側だと思いが濃厚なのや薄いのやと濃淡はあるものの、綺麗な石だと思います。



← 万成石ソックリです！！

洋墓の需要が多い昨今、見栄えの良いピンクの石をお探しの方もいらっしゃるのではないかなあ～、と思います。

女性のお客様のウケは、絶対にイイと思います。

「ベトナム万成石」に興味のある方、サンプルが見てみたいなあ～という方は、ぜひぜひ当社営業員にお申し付け下さい！

さて、今回の福州訪問記、いかがでしたでしょうか？

今月号も最後まで読んでいただき本当にありがとうございます。

これから鬱陶しい梅雨の季節に入りますが、皆様のお仕事が益々上手くいきますこと、また皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

それでは、また次回のメルマガお楽しみにしてください。